

別紙 「平成30年度 学力向上アクションプラン」

足立区立宮城小学校 校長 藤井 基人

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	朝読書	全児童 国語	毎週 火 水 金 始業前15分	【指導体制】 担任 【取組のねらい・目的】 語彙力・読解力を伸ばす。 【使用教材】 図書室の本・学級文庫・家から持ってきた本 ※金曜日は図書ボランティアによる読み聞かせ	・図書室利用の状況 把握 ・学級文庫貸出状況	年間冊数 高学年 50冊 中学年 75冊 低学年 100冊
2	継 続	基礎・基本の時間	全児童 国語 算数	毎週 水曜日 5校時	【指導体制】 担任及び専科教員 【取組のねらい・目的】 前期：前年度までの学習の習熟 後期：当該学年の学習内容の復習 【使用教材】 東京ベーシックドリル 次へのステップ その他プリント教材		
3	継 続	パワーアップタイム	全児童 国語 算数	毎日 13:30～ 13:40 (10分間)	【指導体制】 担任 【取組のねらい・目的】 音読・漢字・計算などの学習を 組み合わせ、短時間集中して学習を行うことで、意欲及び 基礎学力の定着を図る。 【使用教材】 東京ベーシックドリル 次へのステップ 漢字・計算ドリル/たしかめ 百人一首など	・年3回 学力診断テスト(東 京ベーシックドリ ル)	診断テスト 80%以上の正答率
4	新 規	放課後補充教室	つまづきのある 児童 国語 算数	毎週 金曜日 放課後	【指導体制】 学年及び専科教員 【取組のねらい・目的】 各テストの結果を考慮して、苦 手としている児童を対象に、単元の復習を行う。 【使用教材】 教科書 東京ベーシックドリル 次へのステ ップ その他プリント教材		
5	新 規	自学自習ノート	4年～6年児童	毎週1回提出	【指導体制】 宿題 【取組のねらい・目的】 連携校である江南中学校の取組 “自主学習ノート”の前段階として、中学校へのスムーズ な進学をねらいとする。また、自分の興味関心に応じて調 べ活動をしたり、探究活動をしたりすることで、自主的な 学習を促す。 【使用教材】 1cm方眼ノート	宿題提出状況調査	宿題提出90%以上
6	継 続	いきいき生活がんばりカード	全児童	長期休業明け 1週間	【取組のねらい・目的】 長期休業明け、生活のリズムを整 えるとともに、学習習慣のリズムも整える。家庭学習の時 間、内容を親子で検討し、約束がしっかり果たされている か担任とともに保護者が把握する機会とする。	カード提出状況	カード提出100% 保護者のコメント

7	継 続	家庭学習の充実	全児童	毎日	<p>【指導体制】 宿題</p> <p>【取組のねらい・目的】 毎日家庭でも机につき学習する習慣を確実に定着させる。</p> <p>【使用教材】</p> <p>1～3年生は、担任作成のプリントやドリル。音読など。4～6年生は自学自習ノートを活用する。</p>	宿題提出状況確認	低20分、中40分、高60分の家庭学習(宿題・読書など)95%
---	--------	---------	-----	----	---	----------	---------------------------------